

ステークホルダーエンゲージメント

当社グループは、ステークホルダーの皆様との対話の機会を可能な限り設けて、事業の状況や事業を通じた社会課題解決の取り組みに関する説明や意見交換を行っています。今後も、情報発信のさらなる充実に努めていきます。

マルチステークホルダー方針

当社は、計測・認識・制御を核に独創技術で安全な社会と人々の幸せを実現することを使命と自覚し、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでいきます。そのうえで、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取り組みを進めていきます。

1. 従業員への還元

当社は、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。そのうえで、生み出した収益・成果に基づいて、「賃金決定の大原則」に則り、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇

改善としても、従業員のエンゲージメント向上やさらなる生産性の向上に資するよう、人材投資を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き取り組んでいきます。

- ・パートナーシップ構築宣言の登録日
2023年4月28日
- ・パートナーシップ構築宣言のURL
<https://www.biz-partnership.jp/declaration/28872-05-21-tokyo.pdf>

3. その他のステークホルダーに関する取り組み

当社は、ステークホルダーの皆様との対話の機会を可能な限り設けて、事業の状況や事業を通じた社会課題解決の取り組みに関する説明や意見交換を行っています。今後も、情報発信のさらなる充実に取り組んでいきます。

これらの項目について、取り組み状況の確認を行いつつ、着実な取り組みを進めていきます。

主なステークホルダーエンゲージメント

ステークホルダー	コミュニケーション方法		対話窓口
お客様	・日常の営業活動 ・製品操作説明 ・トレーニング	・製品保守サービス ・各種展示会等 ・ハイドロリックスクール(油圧講習会)	・各事業部門(営業・サービス部署) ・コーポレート・コミュニケーション室
株主・投資家	・株主総会* ¹ ・決算説明会* ²	・各種決算説明資料のIR関連ページ上での開示 ・機関投資家との個別ミーティング* ³	・法務・ガバナンス室(株主総会対応) ・コーポレート・コミュニケーション室
調達先・協力会社	・事業方針説明会の実施(協力工場、代理店、代行店) ・日常の調達活動 ・協力工場の監査		・資材管理室、各工場資材課 ・各事業部門(営業部署)
従業員	・労使交渉・経営協議会(労使協議) ・各種制度説明会・社長との対話活動* ⁴ ・評価面談		・人事総務部 ・社長室
地域社会	・工業団地組合等との対話 ・地元自治会等との対話 ・工業団地近隣企業との地域清掃活動 ・地域の祭事(花火大会等)への協賛		・(本社地区)人事総務部 ・(各工場)工場管理課 ・(飯能)TKA管理部* ⁵ ・(田沼)TPS管理課* ⁶
行政	・各種行政担当者との対話(自治体、警察、消防等) ・事故や不祥事発生時の政府機関対応		・(本社地区)人事総務部 ・(各工場)工場管理課 ・(飯能)TKA管理部* ⁵ ・(田沼)TPS管理課* ⁶ ・社長室(政府機関対応)

- *1 総会後の動画配信を追加実施
- *2 2023年6月開催から、オンラインライブ配信ならびに説明会後の動画配信を実施
- *3 Web会議、直接面談で対応
- *4 1回ごとの参加人数を制限しての実施や、Web会議対応を実施
- *5 TKA：東京計器アビエーション株式会社
- *6 TPS：東京計器パワーシステム株式会社

具体的な取り組み

株主様とのエンゲージメント

当社は、株主総会を株主様との貴重な対話の場として捉え、当社本社会議室内で開催するほか、2021年6月開催の定時株主総会からは終了後のインターネット動画配信を行っています。これにより、ご来場をお控えていただいている株主様や、遠方の株主様など多くの株主様に当社グループの事業活動の理解を深めていただいております。さらに、海外の株主様がタイムリーに情報を入手できるよう、招集通知の一部を英文版として当社Webサイトに掲示しています。

また、当社の株主優待制度「東京計器プレミアム優待倶楽部」のWebサービスを利用される株主様にアンケートを実施することで、これまで以上に株主様から直接声を聞くことが可能になりました。多数の株主様からの叱咤激励を経営活動に反映しています。さらに当サイトの「株主ポスト」機能を活用し、ご登録いただいた株主様へ当社からのさまざまな情報発信を行っています。

議決権行使については、2021年6月開催から電子議決権行使もできるようにし、株主様の利便性向上と、郵送物の削減による地球環境への負荷低減を実現しています。

第93回株主総会 動画オンライン配信



投資家様とのエンゲージメント

当社では、コロナ禍をきっかけとして機関投資家様向けの決算説明会をインターネット動画配信で実施していましたが、2023年3月期決算説明会からは、オンラインライブ形式で開催しています。さらに、2024年3月期からは中間決算説明会も開始しました。また、発言内容の理解を深めていただくため、書き起こしも実施しています。

IR面談はコロナ禍から採用している電話会議やWeb会議に加え、直接の面談も復活しつつあります。面談時には、投資家の皆様から今後の業績など事業に関するご質問のほか、ROIC経営など資本収益性の向上に関するご意見をいただくことが増えました。こうした貴重な対話の内容を「IR状況報告」としてIR担当者から経営層にフィードバックしています。

2024年3月期決算説明会 ライブ配信の様子



メディアを通じた情報発信

当社グループは、ステークホルダーの皆様へ各種メディアを通じた情報発信により事業活動のご理解を深めていただくことに努めています。2023年度は当社社長の紹介のほか、グループの特徴的な製品などが各種雑誌に取り上げられました。普段は目にする機会が少ない製品を紹介していただくことで、社会の安全・安心に貢献する当社グループ事業への理解を深めていただくことができました。

メディアを通じた情報発信状況

日付	メディア	情報発信
2023年4月	航空情報 2023年6月号	企業紹介
2023年7月	財界2023年7月19日号 「経営写」	安藤社長インタビュー
2023年9月	J Ships(ジェイ・シップス) 2023年10月号	防衛機器紹介
2023年9月	JWings(ジェイウイング) 2023年11月号	防衛機器紹介
2023年10月	新幹線EX(エクスプローラ) 2023年秋号	レール検査機器紹介
2024年2月	財界2024年3月13日号 「広報の窓」	当社広報社員紹介

地域社会とのエンゲージメント

・佐賀市へ企業版ふるさと納税で寄附を実施

当社グループは、佐賀県佐賀市が取り組むバイオマス事業に対し、企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)の制度を活用して寄附を行いました。佐賀市は「脱炭素・資源循環による持続可能なまちづくりプロジェクト」というバイオマス事業を実施されています。同事業は、清掃工場でのごみ焼却時に発生する排ガスから二酸化炭素を取り出し、野菜や微細藻類の育成促進に活用するという、脱炭素・資源循環型社会の構築を目指した世界初の取り組みです。

当社グループでは、マテリアリティ(重要課題)の一つとして「環境配慮型社会の実現」を掲げており、地球規模の重要課題であるGHG削減に事業活動を通じて取り組んでいます。さらに「東京計器ビジョン2030」における成長ドライバーの一つである水素・エネルギー事業を推進する中で、カーボンニュートラルに向けた環境課題を解決するため、ギ酸から高圧水素と副産物の液化二酸化炭素を取り出す装置の小型・実用化モデルに関する研究開発に取り組んでいます。

当社グループは、市場や顧客の環境配慮に対する要望に応え、商品・サービスにおける設計・調達・製造工程を運動させ、省エネ等の付加価値を提供していきます。



写真右：佐賀市長 坂井 英隆氏

・佐野工場が「佐野市 男女共同参画推進事業者表彰」を受賞

栃木県佐野市では、男女がともに働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる事業者を表彰する「パレット賞」を2015年に創設し、毎年2～3事業者が受賞しています。2023年度は、当社の制度と佐野工場独自の取り組みについて右記のような3項目の評価を受け、受賞に至りました。今後さらに少子化が進行する中で、女性の職域拡大や育児休業からの職場復帰支援は非常に重要な施策であり、今回の受賞を励みに「男女共同参画」を浸透させていきます。

①女性の人材育成

本社研修だけでなく、工場独自の研修を行うなど、男女同等に充実した研修を行っている。工場初の女性管理職が誕生しており、将来的にさらなる女性活躍推進が期待できる。

②充実した休業・休暇制度

育児に関して、法定を上回る休業・休暇制度を整備するほか、会社独自の休暇制度を設け、積極的に社員に活用されている。従業員の立場に立った手厚い制度を整備し、育児休業からの職場復帰100%を達成している。

③地域に根ざした職場づくり

工業団地内の「女性活躍ネットワーク会議」に参加し、他社との情報交換を行ったり、地元から障がい者を雇用するなど、地域に根ざした職場づくりに取り組んでいる。



写真左：佐野市長 金子 裕氏

・プロバスケットチーム“アースフレンズ東京Z”交流会を開催

2023年11月17日、東京計器本社にて、男子プロバスケットボールチーム“アースフレンズ東京Z”との交流会が東京計器テクノポート株式会社主催のもと開催されました。

同チームのホームアリーナは大田区総合体育館です。同じ大田区にある企業との地域交流・地方創生の取り組みの一環として選手との交流会が実現し、当日はニック・アレン選手と棚橋恒介選手にお越しいただきました。お二人はそれぞれ203cm、183cmと高身長で、どこにいても従業員の注目を集め、従業員との記念撮影やゲームなどに気さくに応じていただきました。

アースフレンズ東京Z公式HP <https://eftokyo-z.jp/>



従業員とのエンゲージメント

・東京計器本社にてファミリーデーを実施

2023年11月23日の「勤労感謝の日」に本社においてファミリーデーを開催しました。これは、従業員のお子さんたちを対象に社内見学を通して「親の仕事を知ってもらうこと」をテーマにしたイベントです。

参加した子どもたちは、最初に従業員から簡単な会社説明を受け、その後、1階にある製品展示コーナーや歴史資料室の展示物に実際に触れながら東京計器の製品や歴史を学びました。製品説明では写真を交えたクイズなども企画され、楽しみながら会社のことを理解できたと好評でした。

また、実際にお父さんやお母さんが働く職場を見学した際には、子どもたちはご家族の机や引き出しの中を探索したり、席に座ってみたりと家族ごとに思い思いの時間を過ごしました。見学の最後には、安藤社長とも交流するなど、貴重な経験が盛りだくさんな時間となったようです。



歴史資料室で昔の製品に触れる



社員食堂でランチも体験



安藤社長から会社の説明を受ける

大学とのエンゲージメント

・早稲田大学商学部ゼミの海外研修に協力

2023年11月、早稲田大学商学部 国際貿易研究ゼミより当社に対し、海外研修の一環としてベトナムのダナン市に進出している日系企業に訪問したいという問い合わせがあり、TOKYO KEIKI PRECISION TECHNOLOGY CO., LTD.(TPT)で受け入れることとなりました。

国際貿易研究ゼミ(横田一彦ゼミ)では、国際貿易や開発

経済などを研究テーマとしており、今回の海外研修では世界のサプライチェーンの中核を担う東南アジアのネットワークについて学ぶこと、そしてベトナムに進出する日系企業の海外戦略を現地で学ぶことをテーマとしていました。当日は横田教授と学生13名がTPTを訪れ、約3時間にわたり会社説明や工場見学、そしてベトナム生産拠点の役割と課題についての質疑応答を実施しました。文系の学生は工場になじみが薄いこともあったためか熱心な交流の場となり、大学生の研修受け入れが初の試みだったTPTとしても学びの多い機会となりました。

